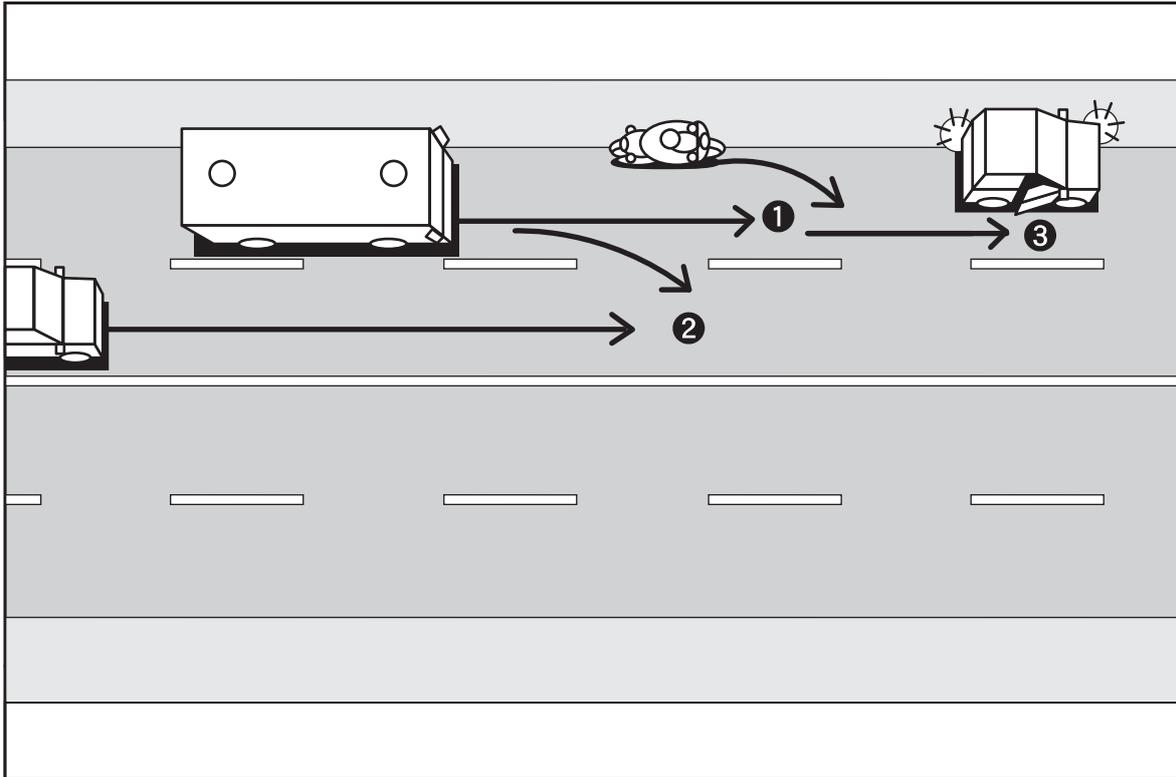


## 〔バス5〕 駐車車両のある道路を走行



### 1．主な危険要因の例

- ① 駐車車両に進路を塞がれた二輪車が、右に進路を変更してくると衝突する危険がある。
- ② 進路を変更してきた二輪車や前方の駐車車両を避けるために、右側車線に進路変更すると後続車と衝突する危険がある。
- ③ 駐車車両のドアが少し開いており、人が乗車していることが予測される。そのため駐車車両との側方間隔をとらずに進行すると、ドアが開いて接触する危険がある。

### 2．安全運転の例

道路の左端を走行する二輪車は、駐車車両などの障害物のために進路変更をすることがよくあるので、二輪車の動向によく目を配り、進路変更が予測されるときは追い越さないようにする。

進路変更をするときは、必ず後続車の有無を確認し、後続車が接近しているときは通過を待ち、安全が確認されてから進路変更をする。

人が乗車している駐車車両の側方を通過するときには、十分な側方間隔をとる。

### 3．乗務員指導のポイント

二輪車との事故を防止するために、特に次の点を指導する。

- ・左端を走行する二輪車は、障害物のために急に進路を変更することがあるので、前方の状況をよく把握して早めに二輪車の進路変更を予測する。
- ・二輪車は急ブレーキをかけると転倒するおそれがあるので、二輪車に急ブレーキをかけさせないような運転を心がけ、車間距離や側方間隔を保持する。駐車車両の側方を通過するときには、十分な側方間隔をとるよう指導する。